

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

回答数 7

公表:令和 3 年 2 月 26 日

事業所名 エイブルベランダBe

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	6		1	利用者定員に対するスペースは確保されています。	
	2	職員の配置数は適切である	3	2	2	管理者・児童発達責任者、児童指導員、指導員については適切に配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	1	施設内にエレベーターがあり、車椅子用リフトの付いた車両にて送迎を行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		毎日ミーティング、月1回スタッフ会議を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		昨年より保護者向け評価表アンケートの実施をしています。また不定期にニーズ調査のアンケートを実施しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		H24年12月第3者評価受審。	自己評価を積み重ねながら第三者評価の準備を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			月1回スタッフみんなで勉強会を実施しています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			アセスメントを行い、策定会議にて分析を行った後、児童発達支援計画を作成します。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		1	アセスメント票を統一しており、その観点からある一定の標準化は図られております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			複数スタッフによるプログラム提案を行っています。	保護者アンケートの要望等も取り入れて計画していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			外部専門講師に指導頂く講座を20講座開催しており、休日にはフーリングメニュー、外出プログラムを実施しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			個別支援計画に基づき、個人のADL・IADL向上に向けて取り組んでおります。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		個別支援計画には個人のADL等だけでなく、小集団である講座活動を盛り込んで作成します。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎日朝礼を行い、1日の動きの確認・調整を行います。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			毎日夕礼を行い、1日の振り返りをして情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			毎日の活動記録を付けています。	個々の支援計画に沿った視点で記録をしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		1	定期的に行われる会議において見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1	1	ADLの向上を目的とした取り組みや、創作活動、外出活動など多岐にわたる活動を行っています。	
関係機関や 保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			担当者が参加します。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校と信頼関係を持つことにより、急な変更などへ直ぐに対応しています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	4		これまで対象児童はいないが、受け入れる場合には連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			情報共有を受け支援に活かしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			情報提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		不定期だが勉強会に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	1		保護者のニーズを踏まえ、今後検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4			呼びかけがあった際には参加するようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			連絡帳などを使い、利用時の様子などをお伝えしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1	随時、保護者から子育ての相談があった際には助言を行っています。	助言したことをスタッフで共有し支援に活かしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			利用契約前に適切に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者からの相談には、一緒に考え一緒に支援出来るよう努めています。	保護者懇談会の実施により、より保護者と共通認識を持ち支援できるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	3		保護者のニーズを踏まえ、今後検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			相談や申し入れをお受けした場合には、緊急会議を開き早急に対応いたします。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			年間行事予定や毎月講座のプログラム、活動の様子を載せたものを発送しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7			取り扱いには十分配慮しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			文字だけではなく、画像を有効活用しています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		地域のお祭りに参加させて頂いたり、事業所を地域の方に使って頂いたりしています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			防災・緊急時マニュアルに対しては毎年更新をしています。感染症に関しては保護者への呼びかけを年2回(7月・10月)に行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年2回の避難訓練を実施しています。	避難訓練の様子などをお知らせしていく予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止の研修に参加し、情報を現場で共有しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			現状対象となる児童はいないが、必要があれば策定会議を経て個別支援計画にて保護者への説明・同意を得ます。その後朝夕のミーティングにて周知を行い実施に至る予定です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	3	対象児のアレルギー情報をスタッフ間で共有し、支援前に必ず確認をしています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハットを回覧し、みんなで情報共有しています。	ミーティングで改善策を話し合い改善していきます。	